

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	
										対象鳥獣	被害金額(千円、%)				被害面積(ha、%)					
											基準年の実績	目標値	実績値	達成率	基準年の実績	目標値	実績値			達成率
甲賀市	甲賀市	R2	ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル	鳥獣の有害捕獲	ニホンジカ 2,275頭 イノシシ 387頭 ニホンザル 14頭				令和2年度においては、ニホンジカ2,275頭、イノシシ387頭、ニホンザル14頭、アライグマ440頭、ハクビシン63頭の捕獲により、地域の被害低減に努めた。	ニホンジカ	2771	1940	3481	-85%	4.7	3.2	6.39	-113%	有害捕獲の実施と侵入防止柵の設置に伴い、全体的に被害低減は達成できたと考えられる。 ニホンジカによる被害は、一定の下限に至ったとみられ、これ以上の被害防止には、公道や住宅地等、防御が困難な場所への対応が必要と考えられる。 一方、イノシシによる被害は、CSFからの回復が見られ、出没および被害が増加した。 被害防止を向上させるため、緩衝帯を整備し、柵の修繕に対して補助することで、継続的な防除活動を推進する。	ニホンジカについて、毎年2000頭前後を捕獲しているが、被害減少が鈍化している傾向にあるため、防護柵の確認などの防除対策強化を検討する必要がある。 イノシシについて、基準年より減少したものの被害金額は大きいことから、引き続き捕獲と防除を共に推進する必要があると考えられる。 (滋賀県甲賀森林整備事務所 次長 柳井 洋)
		R3		鳥獣の有害捕獲	ニホンジカ 1,618頭 イノシシ 305頭 ニホンザル 22頭					イノシシ	16800	11760	6782	199%	16.7	11.6	18.07	-27%		
		R4		鳥獣の有害捕獲	ニホンジカ 1,829頭 イノシシ 767頭 ニホンザル 35頭					ニホンザル	207	145	559	-568%	0.7	0.49	0.57	62%		
										アライグマ・ハクビシン	13	9		325%	0.01	0.007		333%		
														#DIV/0!				#DIV/0!		
										合計	19791	13854	10822	151%	22.11	15.3	25.03	-43%		

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

注2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。

3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。